



### 軍保馬鍛錬競技に 選抜する四十五頭

#### 平工業校新築敷地に於て

石城郡馬組合主催の軍用保護馬普通鍛錬競技会は来る九月十八日平市に於て開催されるので此の準備協議会を昨二十七日午前十時から同組合各區長會を開いて行はれた其の結果期日は右豫定の通り出場馬は最優秀なるものを選抜される平市ほか小名濱、勿來、川部、玉川、豊岡、夏井、高久、草

### 藝妓屋對料理店の 抗争昨夕漸く解決

#### 渡部平署長の粹な裁きで

平藝妓屋對料理店組合の渡部平署長が昨夕、王代歩引下げの脱み合ひは去る二十一日以來箱詰めとなり料理店四十八戸の結束と藝妓屋十二戸の團結が各區互に相譲らず六日間及んだが斯ては兩者の爲ならずと見た渡部平署長が昨二十六日仲裁に乗出し各組合代表五名づつを招致し其の非を論じて圓滿に解決當夜から漸く平常に復したが粹な裁きに當つた署長は語る、  
制令問題などで抗争することとは時局柄よくないから互に言ひ分はあつても白紙に還元して營業につく様すゝめた、今回の争ひは一方的の通告が感情を失らしたもので車の兩輪の如き兩者が

### 警防團へ一萬二千圓

#### 三井榮一氏制服新調費に

平市出身在京の富豪三井榮一氏は同市警防團の團員制服新調に金一萬二千圓の寄附を申し込まれたので制服調製費に備へて了る關内團長以下の喜びが甚種は日一五號×支一〇八號で従来の如く警防團別の購入をなす實行組合單位をもつて共同に求め添作をあや

### 長い梅雨季から 愈よ本格の暑氣

#### 齊藤正雄

酷暑、盛夏の候皆様方には益々御清勝の段奉度賀儀、本日銃後會の皆様方より真心こめたる慰問袋を御送り下さり誠に有りがたく御禮申上げ候、いつに變らぬ郷土の皆様方の御厚情には身に泌みる有難さを感じ申候、想へば月日のたつのは早きものにて出征以來滿二ヶ年中南支に日を送り世界の情勢は一段と變化を呈し複雑性を加へます、日本の將來に於ける重大性が加はり來たれるを覺え申候、小兵等戦地にあるもの今後いよゝゝ微力には候得とも粉骨碎身皇國のため大いに働かんとことを期し居り候、南支は今長き間の蒸し暑い梅雨期が次第にあがり愈よ本格

### 支那單語

これは税をかねばならぬと云ふことは這是得上税でチエーシューイシアンシューイと唱ひこれは皆ふるいのですと云ふことは這都是舊的でチエーシューイ、チウヂと稱してゐる、

### 石城各漁のウニ 今年は大豊漁

石城郡江名、四倉、豊岡、小名濱の各漁は去る五月から採取をはじめたウニの豊漁で既に二萬貫(金額六萬圓)と云はれてゐる今年の好漁は昨年飽の豊漁で當業がこれに力を注いだためにウニの採取を手控いられた結果で其の代り飽は不漁である、採取には半島人の海女も十數名來てゐるが一日一人四十貫から五十貫、東京方面へ送られるものは一貫目一回、貝類は一個廿五錢(小賣)の好相場を唱ひ海女の稼ぎは月収百圓から百五十圓になつてゐる

### 四市精動事務主任會議 任會議

縣下四市精動事務主任會議は来る八月二日平市役所に於て開催、貯蓄運動、戦時食糧對

### 警炭親和會の世 話役慰安會

石城郡内郷村の警炭炭親和會の世話役慰安會は明二十八日の公休をとり四倉町の旭館に於て開催する

### 平染色工業組合 成る

平、植田、四倉の三警察署管内染色工業組合は業用資材の共同購入等に創立されて左記役員を決した、事務所は平市南町四九に置き平スフ織物染色工業組合と稱しステーパーファイバーの染色に右共働力によつて改良發達をはかることになつた

### 庭球大會

申込既に四十五組平蹴球協會主催の縣下中等校庭球大會は既報の如く来る八月四日警中コドで舉行されるが出場申込みは豫想以上に多く既に左記十五校四十五組に達した

### 縣下中等校の 庭球大會

申込既に四十五組平蹴球協會主催の縣下中等校庭球大會は既報の如く来る八月四日警中コドで舉行されるが出場申込みは豫想以上に多く既に左記十五校四十五組に達した

### 大麥價格決定

縣では大麥の販賣價格を決定今二十七日左記の如く發表されたが石城地方の今年の麥作は所によつて三割以上の増收を唱ひられ非常な豊作なので潤澤な出廻りを見るであらう

### 警郡農會長 腦溢血で重態

石城郡農會長、同種草耕作組合長、石双輝草聯合會會長、植田町會議員等の要職をもつ藤清昇氏は今二十七日朝突然腦溢血で倒れ醫師の手當中であるが重態である

### 精神國民百人一首 (13)

白沙村人編

### 元政法師

俗姓石井氏、江州彦根藩の藩士、直政に仕へて籠あり、三浦屋一世高尾と腰漆の交あり、後山城伏見にかくる戯曲石井常右衛門はその前身なりと云ふ、その辭世の歌に「深草の元政法師死なれりわが身ながらもあはれなりけり」と本歌と併せ讀み、その心境の解説思ふべし、

### 大石良雄

播州赤穂の城主淺野長矩に仕へ、後四十七士と共に君の仇を報じたるは三才の童子もこれを知る、とふ人に語を言葉のなかりせば身は武藏野の露とこたゑん

### 小野寺秀和

同じ赤穂義士の一人なり、和歌に堪能なり、やま風にゆきけの雲をよきとちてけむり短かき小野の炭がま

### 小野寺丹子

秀和の妻、貞操のほまれあり、和歌をよくす、くれてゆく秋といわせの山風に紅葉かつちる音のさひしき

### 吉田兼亮

忠右衛門と稱す、同じく赤穂義士なり、かきくらし雪ふりつもる山里も垣根の梅は春を忘れず

### 間光延

喜兵衛と稱す、赤穂義士の一人、みやこどりいざこととはんものよふのははる世とははるやしらすや

### 中江藤樹

字惟命、與右衛門と稱す、江州高島郡小川村の人、家に藤の大木あり仍て號とす、我國陽明學の祖、世人尊崇して近江聖人と稱す、小川村藤樹神社に鎮座す

# 産業方面

## 鮫の新加工

竹輪、そぼろ、鮫節製造方法の三ツ

鮫の加工は各地共に研究されてあるが北海道沿岸から澤山とれる鮫には特殊な臭気がある為め一部が蒲鉾に利用されるのみで他は殆んど肥料に用ひられ商品価値のないもの一向に顧みられてゐなかつたが同地水試場が多年の研究で鮫を原料とする竹輪、そぼろ鮫節の製造に成功し代用食確保に凱歌をあげた、その製造方法は、

▲竹輪、まづ肉を七、八寸に切り水を張つて槽に入れ丈夫な棒で連続的にかき廻し水が混濁する毎にこれを替へると獨特の臭気は完全に失はれる、次に水晒しにした肉を腰搾袋に入れ徑六〇センチ、重さ三トンの壓搾機に卅分かけこれを肉碎機にかける、出来上つた摺身肉一貫目に砂糖五十五分、味淋三勺、澱粉七〇分、味の素〇・二分、食鹽二三分を混せて摺り返し千代田式形成器にかけると普通の竹輪と大差のないものが出来る、

▲そぼろ、調理と脱臭は竹輪の製法と同じ、淡水で煮沸し沸騰後卅分冷水中に入れて肉碎し更に五時間淡水中で晒すかこの場合〇・二パーセントの過酸化水素を用ひたところ完全に脱色した、それから壓搾するのだがこれを竹輪と同様の方法で可なり風味のよいものが出来る、

▲鮫節、まづ長さ七、八寸

幅二寸五分、厚さ一寸位のフレイムに切断して二時間冷水で浸漬し煮籠を並列して淡水で煮沸する、その時間は沸騰後四十分が適宜でそれから十分に冷放する、それから普通節類焙乾折に並列して焙爐五枚折とし途中上下一回切り換へを行ひ肉の中心部まで浸熱する様にする、その時間は卅分前後を適當とする、それから再び冷放しに上積み重ねるのだが同じことを數日繰返した後好天の日を選んで日乾しにするうちに完全な節になる(以上)

命の御用は

# 三三三

牛も豚も優良品の自慢

大小の御宴會にホール  
御家族の御同伴に御座敷  
いつも材料を吟味して居ります

## マルト食堂

平市四丁目(電話二二三番)

根本産人科醫院

平市南町

根本庄次郎  
根本貞雄

電話三四番

(入院随時)

喫茶 専

喫酒場を兼ねた。

# ミクローゼ

平市銀座街  
電話五九二番

營業時間  
開店：午前十時  
閉店：午後十一時  
一時より、  
時限り、

内科、小兒科

# 大森醫院

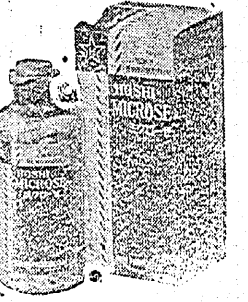
醫學士 大森勇

平市南町 電二五八番

應入院 需院

# 胃腸強生 ミクローゼ

酵母劑の上を行く



ホシチエーンストアー

星製藥株式會社福島縣支部

ホシ薬舗 (平市3ノ30) 電話429番

星チエーンストア支部

製する際に死滅し易い酵母と異り、ミクローゼの主成分である日本固有のビルソは、生存力が極めて強く、服用後、胃腸内でどんどん増殖し、腸力な消化酵素を産生する特徴を有して居ります。一、酸に。効果は持続的、且つ腸力であり、何れりの諸病は、食慾が増し、快い便通が得られることです。

郵券十銭で、五日分六十錠の試服薬を急送す

東京・五反田 星製藥株式會社

洋産輸入、金物置屋

# 店商屋釜

九九・九〇

新時代の要求

経済的を御便  
御用命を  
御ひ致します

新時代には等外看護婦を特設いたし皆様の御用命へ身元確保なる婦人を派出致します。

# 平市南町 平看護婦會

電話三〇七

會長 菅野キヨ子  
御手不足の御家庭  
軽い御病人の付添  
産婦產婦の御家庭

診療科目

- 一、齒科一般  
保存科、補綴科、組織架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

平市田町(松月堂向と)

# 中野齒科醫院

電話五〇九番

院長 日本齒科醫學士 中野慈次  
日大醫學士 鹽谷伍郎  
主任 佐藤重義